



# おなづか



http://www.ota-school.ed.jp/onazuka-es/

発行者 大田区立おなづか小学校長 橋本 由美子

## 頭をよくする方法

副校長 鈴木 政良

はたけに だいこんが 5本 うわっていました。そのうち、3本 ぬきました。あとは いくつでしょう。

ある日の児童朝会で、この問題を子どもたちに出しました。リモートによる映像朝会だったので子どもたちの様子はわかりませんでしたが、教室では黙って考えていたようです。

答えは「3つ」です。「2本」ではありません。

答えを言った後、私は以下のように話しました。

「大根を抜いた『あと』のことを聞いているから引き算が関係あるとわかりますね。1年生の算数の勉強で、引き算の時は『残りは』『ちがいは』という言葉を使うと習ったはずです。だから本当なら『残りは何本でしょう』と言うはずですね。でも私はなんと言ったでしょうか。『あとはいくつでしょう』と言いましたよ。何が違うでしょうか。」

すなわち「あと」は「跡」、つまり抜いた後の「穴」のことなので「何本」ではなく「いくつ」と言ったのです。

続けて次のように話しました。

「みなさんは学校へ来て勉強して頭を良くしようとしています。これから『頭をよくする方法』を教えます。

まず、人の話はよく聞き、文はよく読むことが大切です。『読む』ことの中には『見る』ことも含まれます。これをしなければ、今から何を考えるかわかりません。次によく考えることです。それまで勉強したことや知っていることを思い出しながらじっくり考えましょう。そして答えが分かったら、必ず確かめることが大切です。このようにして勉強すると、考える力がついて頭がよくなります。まとめるとこうなります。」

そして、右の表示を見ました。

子どもが「生きる力」を獲得するには、学びの主体である子ども自身が目的意識をもって学ぶ姿勢が必要です。

まず、①により学習することへの意欲をもち、考える楽しさを知って興味あることを追究し、そこで新しい知識を得られた満足感が自己肯定感につながります。

本校では子どもたちが自己肯定感を得られる「わかる授業」を目指して研究授業を行っています。ご家庭でも日頃から上記の「頭をよくする方法」が習慣として定着するよう、お子さんにお声掛けください。

### 頭をよくする方法

- ① よく聞く よく読む（見る）
- ② よく考える
- ③ さいごに かならず たしかめる  
いすれ あなたは 東大王

## 2月の行事予定

日	曜	行 事
1	火	
2	水	4時間授業
3	木	特別時程
4	金	
5	土	土曜授業・補習
7	月	委員会活動※
8	火	新1年生保護者会（1年：午前授業） そろばん教室（3年）
9	水	特別時程 区漢字検定 そろばん教室（3年）
10	木	安全指導
11	金	建国記念の日
14	月	クラブ活動※
15	火	特別時程
16	水	6年生ありがとう WEEK
17	木	
18	金	
21	月	5時間授業（1・2年） 6時間授業（3～6年）
22	火	5時間授業
23	水	天皇誕生日
24	木	特別時程 保護者会（高）
25	金	特別時程 保護者会（中）
28	月	

\*平井先生（毎週月曜日）7日・14日・21日・28日

\*城戸先生（毎週金曜日）4日・18日・25日

※7日（月）の委員会活動は30分間の実施です。14日（月）のクラブ活動は中止の可能性があります。

「わかった」「できた」と感じられる授業づくり

研究主任

昨年度に引き続き、本校では「児童の自己肯定感や自信を育む授業」を研究主題とし、算数科・体育科の授業研究に取り組んでいます。

今年度は各学年で研究授業を行いました。算数科では、問題解決学習を通して「わかった」「できた」と感じられる場面を、体育科では、友達との教え合いを通して、「できた」と感じられる場面をたくさん生み出す方法を研究してきました。今後も子どもたち一人一人が達成感を抱ける授業づくりをし、自己肯定感を高めていきたいと思います。

問題解決のためには、基礎学力の定着も大切です。毎日の家庭学習において、保護者の皆様のご協力もお願いいたします。